

第2回岩見沢市地域公共交通活性化協議会

岩見沢市地域公共交通網形成計画(案)策定資料

～交通空白地域における新たな公共交通実証運行～



日時 平成27年10月7日(水) 10:00～

会場 岩見沢市役所 3階委員会室



1. 本実証運行の目的

岩見沢市における交通空白地域（※1）改善のため、岩見沢市に存在する交通空白地域を対象に、予約に応じて運行するデマンド型交通の実証運行を実施する。

※1交通空白地域とは・・・
既存バス路線のバス停から300m以上離れた地域

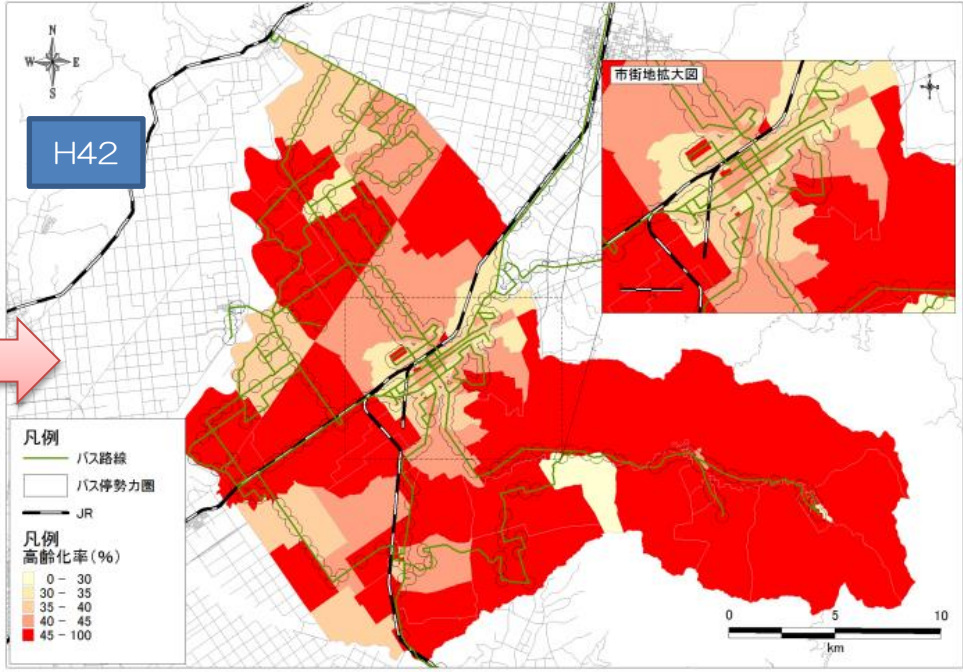
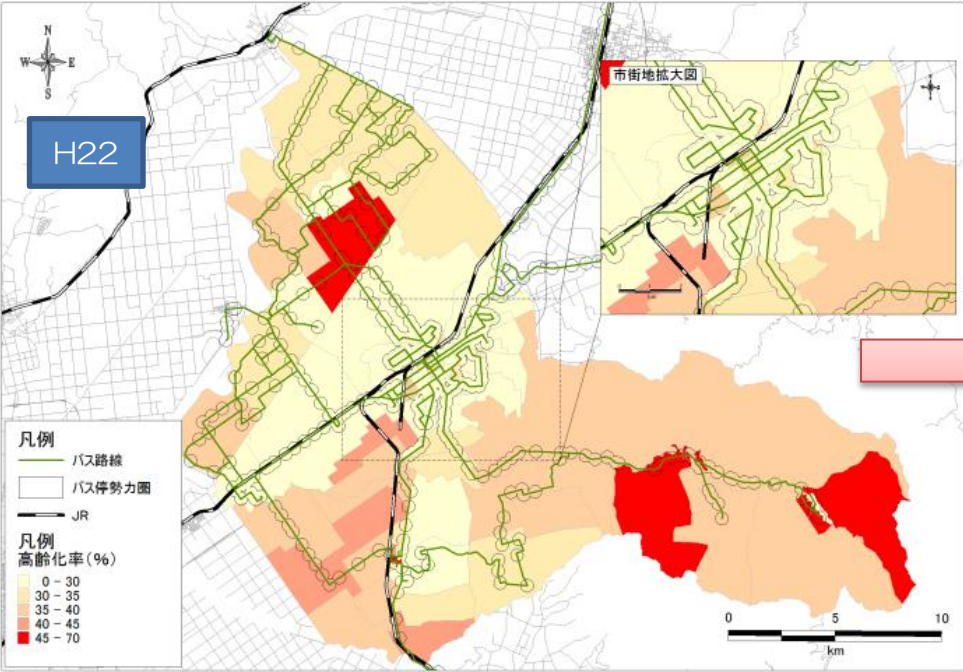
2. 交通空白地域における新たな公共交通実証運行検討の経緯①

交通空白地域における新たな公共交通実証運行を検討するにあたり、以下の問題点が挙げられる。

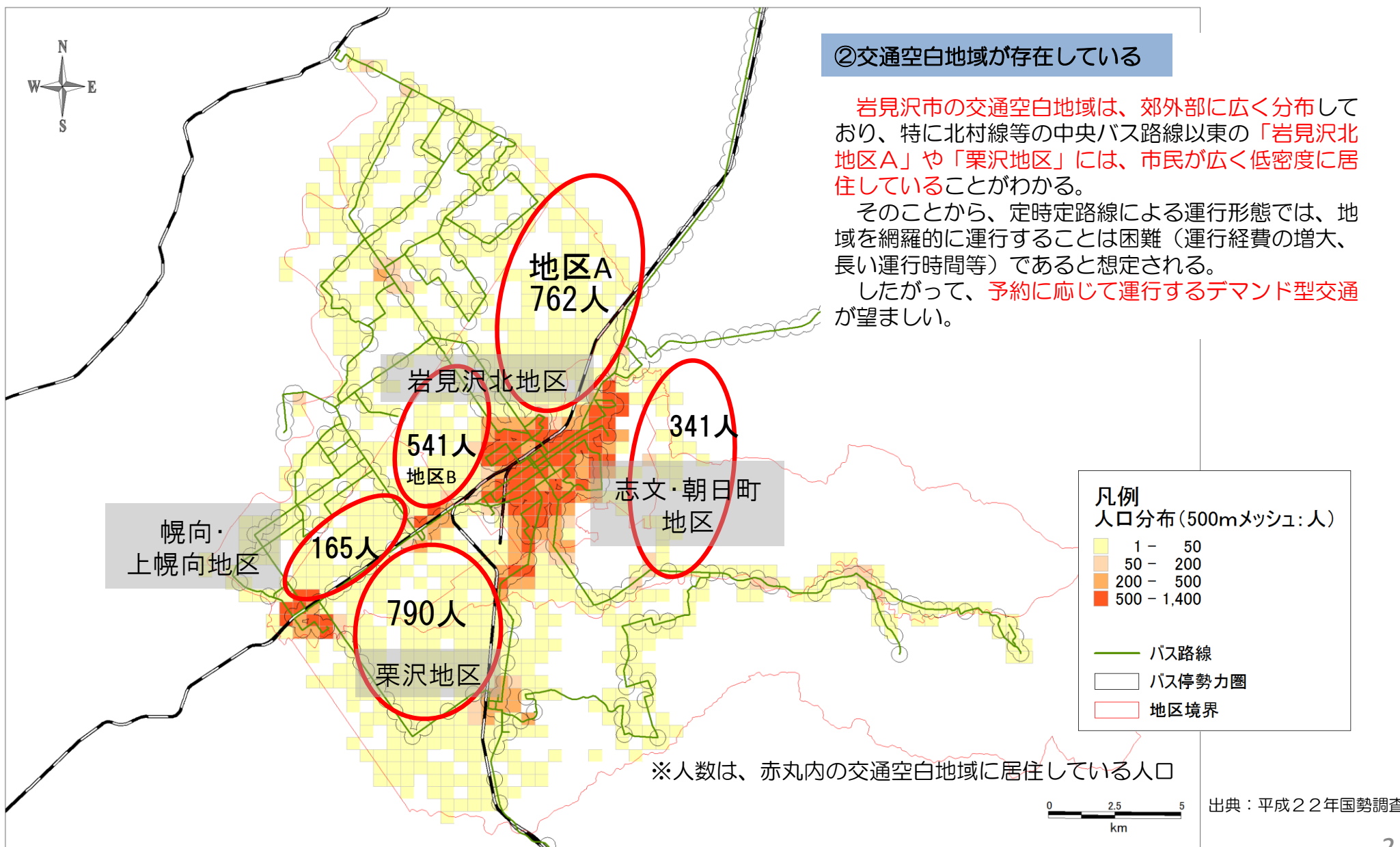
- ①高齢化の進行は市街地と比較し、郊外部で進行している
- ②交通空白地域が存在している

①高齢化の進行は市街地と比較し、郊外部で進行している

平成22年における高齢化の分布図と平成42年における高齢化の分布図を比較すると、岩見沢市の高齢化は市街地よりも郊外部において進行していくことが予想されている。



2. 交通空白地域における新たな公共交通実証運行検討の経緯②



3. 協議会での決定事項の整理

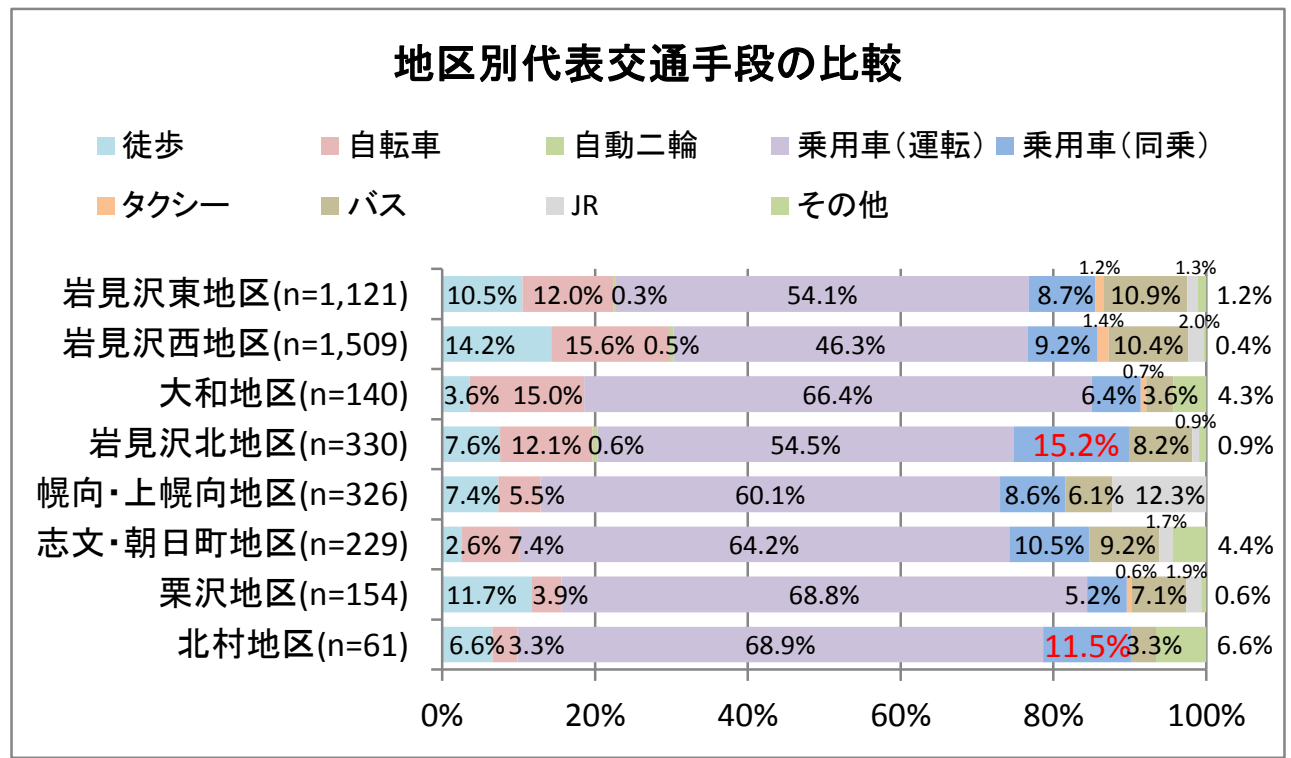
以上の問題点を踏まえ、岩見沢市地域公共交通活性化協議会では、以下の事項について決定した。

- ①実証運行期間 : 2カ月間（予定）
- ②実証運行検討対象エリア：岩見沢市内に存在する交通空白地域
 ⇒実証運行は、交通空白地域から運行エリアを抽出し実施

4. 運行エリアの設定

- 岩見沢市の交通空白地域は、郊外部に広く分布している。
- 特に北村線等の中央バス路線以東の「岩見沢北地区A」や「栗沢地区」には、市民が広く低密度に居住している（前述P2 ①交通空白地域が存在している）。
- また、地区別代表交通手段をみると、
 「岩見沢北地区」及び「北村地区」において、乗用車（同乗）の割合が高く、外出の際に家族もしくは知りあい等に頼らざる得ない生活を強いられていることが想定される。

これらを勘案し、岩見沢市における交通空白地域改善のための実証運行は、「岩見沢北地区」及び「北村地区」を対象とし実施する。



5. 運行計画の検討①

5-1 実証運行時期

平成27年11月中旬～平成28年1月中旬の2カ月間
 (月曜～土曜運行、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)は運休)

5-2 運行時間帯の検討

①上り(郊外部から岩見沢ターミナル方向)

・「岩見沢北地区」及び「北村地区」における通院及び買物に行く時間帯は、通院時が「9時台」及び買物時が「10時台」となっている。また、買物に行く時間帯として、「14時台」のニーズも存在している。

⇒上り便の運行便数は午前2便、午後1便を設定する。

②下り(岩見沢ターミナルから郊外部方向)

・通院・買物先での滞在時間は、「1時間～1時間30分」が最も多くなっている。通院先での滞在時間については、「2時間～2時間30分」も多くなっている。

⇒上り便との兼ね合いも考慮し、午前1便、午後2便を設定する。

参考 ※「岩見沢北地区」及び「北村地区」のみの集計

◆通院する主な時間帯		◆通院先に滞在する時間	
第1位	9時台 (31.8%)	第1位	1時間～1時間30分 (33.4%)
第2位	10時台 (26.2%)	第2位	2時間～2時間30分 (20.4%)
第3位	8時台 (10.6%)	第3位	3時間以上 (19.1%)

◆買物する主な時間帯		◆買物先に滞在する時間	
第1位	10時台 (32.8%)	第1位	1時間～1時間30分 (41.4%)
第2位	11時台 (12.6%)	第2位	30分～1時間 (22.8%)
第3位	14時台 (10.7%)	第3位	2時間～2時間30分 (12.7%)

5. 運行計画の検討②

5-3 立寄地の検討

①医療施設

- ・市内に立地している医療施設のうち、「岩見沢北地区」及び「北村地区」に居住する住民が最も利用する医療施設は、「岩見沢市立病院」となっている。次いで、「岩見沢中央労災病院」となっている。

⇒市街地における立ち寄りする医療施設としては、「岩見沢市立病院」及び「岩見沢中央労災病院」とする。

②商業施設

- ・「岩見沢北地区」及び「北村地区」と「岩見沢市立病院」を結ぶ路線上に立地している「JR生鮮市場」及び「コープさっぽろ岩見沢東店」を経由させることとする。さらに、「岩見沢北地区」に居住する市民の利用が多い「イオン岩見沢店」及び「大和タウンプラザ」にアクセスできるよう、「岩見沢駅ターミナル」に接続することとする。

⇒市街地における立ち寄りする商業施設としては、「JR生鮮市場」及び「コープさっぽろ岩見沢東店」とする。

③その他施設

- ・本実証運行におけるターゲットは、「岩見沢北地区」及び「北村地区」に居住する通院及び買物利用の交通弱者であるが、市街地の立ち寄り施設の経路上に存在し、交通結節点であり本実証運行期間中コミュニティカフェ開催場所となる「であえーる」及び、市外への通院・買物利用等も考慮し、「JR岩見沢駅」に乗り入れることとする。

⇒市街地における立ち寄りするその他施設としては、「であえーる」及び「JR岩見沢駅」とする。

参考 ※「岩見沢北地区」及び「北村地区」のみの集計

◆通院先	◆買物先
第1位 岩見沢市立病院 (28.9%)	第1位 イオン岩見沢店 (49.0%)
第2位 岩見沢中央労災病院 (17.6%)	第2位 JR生鮮市場 (43.2%)
第3位 札幌市内の病院 (9.5%)	第3位 大和タウンプラザ (40.5%)

5. 運行計画の検討⑥

5-4 運行時間帯の設定

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便	6便
岩見沢市立病院前 発	—	—	—	11:00	14:40	16:25
JR生鮮市場	—	—	—	11:03	14:43	16:28
JR岩見沢駅前	—	—	—	11:05	14:45	16:30
であえーる前	—	—	—	11:07	14:47	16:32
コープさっぽろ岩見沢東店前	—	—	—	11:10	14:50	16:35
岩見沢中央労災病院前	—	—	—	11:12	14:52	16:37
稔町（東川向道路交差点）	—	—	—	11:19	14:59	16:44
岩見沢北地区A・北村地区（区域内運行）着	—	—	—	11:49	15:29	17:14
岩見沢北地区A・北村地区（区域内運行）発	7:30	9:10	12:30	—	—	—
稔町（東川向道路交差点）	8:00	9:40	13:00	—	—	—
岩見沢中央労災病院前	8:07	9:47	13:07	—	—	—
コープさっぽろ岩見沢東店前	—	9:49	13:09	—	—	—
であえーる前	8:12	9:52	13:12	—	—	—
JR岩見沢駅前	8:14	9:54	13:14	—	—	—
JR生鮮市場	—	9:56	13:16	—	—	—
岩見沢市立病院前 着	8:19	9:59	13:19	—	—	—

※岩見沢市立病院・岩見沢中央労災病院 8:00 受付開始

※コープさっぽろ岩見沢東店 9:00 開店

※JR生鮮市場 10:00 開店

5. 運行計画の検討④

5-5 他交通手段への接続状況

① 郊外部から岩見沢ターミナル方向

停留所名	1便	2便	3便
岩見沢北地区A・北村地区（区域内運行） 発	7:30	9:10	12:30
稔町（東川向道路交差点）	8:00	9:40	13:00
岩見沢中央労災病院前	8:07	9:47	13:07
コープさっぽろ岩見沢東店前	—	9:49	13:09
であえーる前	8:12	9:52	13:12
JR岩見沢駅前	8:14	9:54	13:14
JR生鮮市場	—	9:56	13:16
岩見沢市立病院前 着	8:19	9:59	13:19
JR（札幌方面）岩見沢駅発	8:27 ←	10:05 ←	13:35 ←
路線バス（イオン方面）岩見沢ターミナル発	8:25 ←	10:10 ←	-

5. 運行計画の検討⑤

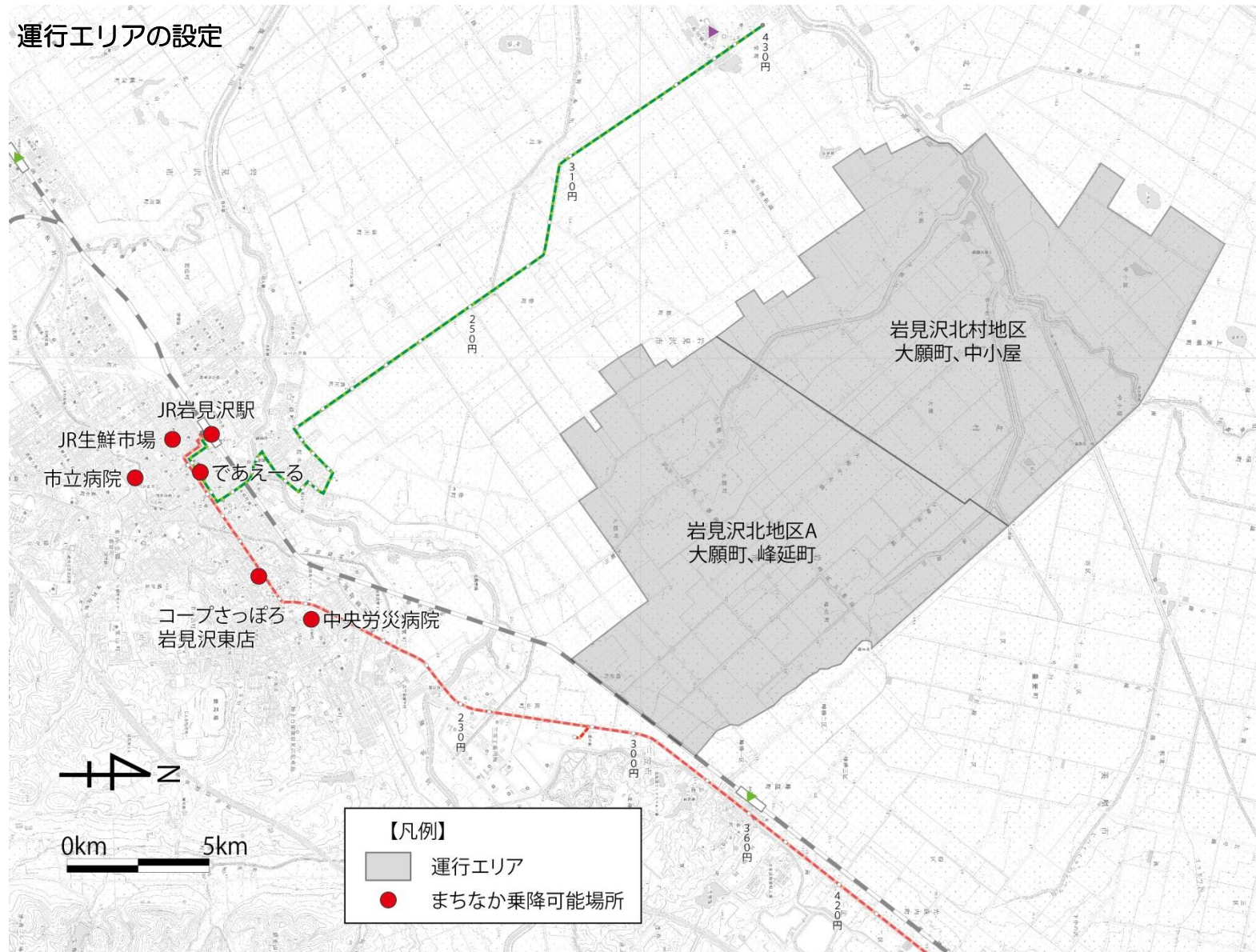
5-5 他交通手段への接続状況

② (岩見沢ターミナルから郊外部方向)

JR (旭川方面) 岩見沢駅着	—	14:25	16:10
路線バス (イオン方面) 岩見沢ターミナル着	10:44	14:34	16:19
停留所名	4便	5便	6便
岩見沢市立病院前 発	11:00	14:40	16:25
JR生鮮市場	11:03	14:43	16:28
JR岩見沢駅前	11:05	14:45	16:30
であえーる前	11:07	14:47	16:32
コープさっぽろ岩見沢東店前	11:10	14:50	16:35
岩見沢中央労災病院前	11:12	14:52	16:37
稔町 (東川向道路交差点)	11:19	14:59	16:44
岩見沢北地区A・北村地区 (区域内運行) 着	11:49	15:29	17:14

5. 運行計画の検討⑥

5-6 運行エリアの設定



5. 運行計画の検討⑦

5-7 運賃設定

交通空白地域におけるデマンド型交通の本格運行に向け、**運賃は有償とする。**

岩見沢北地区、北村地区：300円/回

運賃額は、近隣を運行する路線バス運賃を踏まえ、利用にあたり運賃に対する抵抗感が少なく、利用者に分かりやすく一律定額として採用する。

5-8 運行車両

岩見沢地区ハイヤー協会（日の出交通（株）、岩見沢小型ハイヤー（株）、岩幌交通（有））のセダン型ハイヤーで実証運行を行う。

5-9 実証運行における利用者調査

新たな公共交通の本格運行に向けて、調査段階での問題点の抽出や改善策の立案を目的に実証運行の利用者を対象としたアンケート調査を実施する。

①調査対象者

実証運行の利用者を対象

②調査方法

運転手から利用者にアンケート票を配付し、調査を実施

③調査項目

調査方法	調査内容
運転手から手渡し配布	利用目的（通院、買物、その他私用など）
	利用頻度、この公共交通が無い場合の移動手段
	今後の利用意向、運賃額による利用意向 など

5. 運行計画の検討⑧

5-10 予約運行に役割の整理

デマンド運行に実施するにあたり、利用者からの予約受付業務等が発生する。
以下にデマンド運行実施に際し、各役割について示す。

段階	項目	各担当役割
ご利用前	利用登録	—
	予約受付	交通事業者で実施
	予約者名簿の作成	—
	運行事業者への予約者名簿の送付	—
	運行ルートの設定	交通事業者で実施
	予約者へのお迎え時間のお知らせ	交通事業者で実施
ご利用当日	予約者宅への配車	交通事業者で実施
	目的地までの運行	交通事業者で実施
	ご自宅までの運行	交通事業者で実施
ご利用後	利用実績の作成	交通事業者で実施
	運行事業者からの利用実績の受け渡し	自治体で実施